



CodeScape

付加情報

平成 10 年 10 月 26 日版

CodeScape ver.2.1.2 Build 100 / Firmware 4.3.0A

- ・ 制限事項
- ・ バグ情報
- ・ その他
- ・ 変更履歴



1. 概要

現時点で CodeScape にはいくつかの使用制限があります。これらは早急に解除される予定ですが、制限事項を十分理解の上、使用下さい。

CodeScape Debugger は、Dev.Box 上で動作するプログラムをデバッグするためのツールです。

特徴

- PC 上で動作するツールである。
- Dev.Box 内のデバッグアダプタと SCSI にて接続される。
- Windows ベースのインタフェース。

2. 動作環境

2.1. PC 環境

- OS: Windows95 OSR 2.0/2.1
- SCSI カード: ASPI ドライバが動作するカード

推奨 SCSI カード : AHA-1542 シリーズ/AHA-2940 シリーズ

ASPI マネージャはバージョン 4.010 以降が必要です。

Windows95 に標準で付属している ASPI マネージャは使用できません。詳しくは SCSI カードに付属のマニュアルをご参照ください。

なお、最新版 ASPI マネージャは、

<http://www.adaptec.com/support/overview/ezscsi4x.html> より、ダウンロードできます。

3. 制限事項

3.1. パイプラインシミュレータ・プロファイラ (バージョン)

パイプラインシミュレータとプロファイラが実装されていますが、バージョンである為、各種の制限事項があります。詳細は CodeScape ヘルプファイルを参照ください。

3.2. C のソース関連制限

以下はデバッグ時の推奨環境です。コンパイラの Optimize 方法、CodeScape の動作不具合を理解した上で使用するのであれば、この限りではありません。

デバッグする C ソースは、

- コンパイル時の最適化オプションは、**optimize=0** 以外指定しない。
optimize=1 とした場合、変数の表示、プログラムのステップ実行が正常に行なえなくなります。
- inline 展開関数は使用しない



- inline assembler は使用しない
の制限で開発することを推奨します。

3.3. 不具合項目

Watch Local Watch	<ul style="list-style-type: none">● 変数の表示内容が間違っていることがあります。● スコープの外と内側に同じ名前の変数がある場合、表示が正確に行われません。
Watch	<ul style="list-style-type: none">● optimize=1 のとき、変数の値が正常に表示されないことがあります。
Local Watch	<ul style="list-style-type: none">● optimize=1 のとき、変数の値が正常に表示されないことがあります。
Break	<ul style="list-style-type: none">● F5 での設定が効かなくなるときがあります。(この場合でもメニューからの設定は可能です。)● Optimize=1 のとき、ブレークポイントのコンディション設定が効かなくなります。● Watch Conditions を指定すると 変数の値が変化しなくなることがあります。
Register window	<ul style="list-style-type: none">● FR0-15 などが指定できるにも関わらず、Change Inc/DecValue に小数点を入力できません。
Step	<ul style="list-style-type: none">● Optimize=1 のとき、ソースコードの行の順番は保証されません。
Project	<ul style="list-style-type: none">● ビルドの最中、ウインドウの表示更新がされません。
Source	<ul style="list-style-type: none">● 行番号が二ーモニックのある行にのみ表示されます。
Call Stack	<ul style="list-style-type: none">● 1 レベルまたは 2 レベルまでしかコールスタックが表示されないことがあります。
Editor	<ul style="list-style-type: none">● 日本語の入力に一部問題があります。

4. 注意事項

4.1. OS モードと CPU モードについて

DebugAdapter の動作モードには、OS モードと CPU モードがあります。それぞれの特徴は以下のとおりです。これらのモードの切り替えは、DACheck の終了時に表示されるダイアログで行ないます。

OS モード：DebugAdapter 起動後、BootROM に処理を移行します。**GD-Workshop と組み合わせた自己起動プログラムの**テストなどに使用します。

CPU モード：標準的な動作モードです。DebugAdapter の起動後、ターゲットは待機状態になります。

4.2. 関連ファイルの更新

CodeScape 上で Local 変数の参照が出来ない場合、CodeScape フォルダ内の一部ファイルが古い可能性があります。CodeScape ディレクトリ内のファイル全てを、当 SDK に付属のものに更新してください。



5.動作に不具合が生じた場合

今まで動作していた DevBox、CodeScape 等が急に動作しなくなった場合は、以下の項目を確認し、対処方法を試して下さい。

主な確認事項

- 特定のプログラムのみ不具合が生じますか？ (プログラムの不具合)
- PC 上の他のアプリケーションは正常に動作していますか？ (PC の不具合)
- 他の環境では、同じプログラムが正常動作していますか？ (PC または Dev.Box の不具合)

内容	対処方法
プログラムの不具合	● プログラムを修正する
PC の不具合	● 電源を入れ直す
PC の不具合	● OS を再インストールする。ASPI マネージャをアップデートする。
PC の不具合	● ハードウェアの変更
CodeScape の不具合	● CodeScape を再起動する。
CodeScape に設定した項目が元に戻せなくなった	● Codescape.ini ファイルを消去する。
CodeScape に設定した項目が元に戻せなくなった	● Session を新たに生成し、再度設定し直す
Dev.Box に初期化が必要	● CodeScape より、File → Rest Target → Hard reset で再度プログラムを読み込む
Dev.Box に初期化が必要	● Dev.Box の電源を入れ直す。
Dev.Box の不具合	● Dev.Box の変更。

codescape.ini について

PC でウインドウズのフォルダにある codescape.ini ファイルを消去(またはリネーム)して下さい。(例: c:\windows\codescape.ini を消去)

これらは全てを一度に行う必要はありません。症状に応じて適宜組み合わせて動作確認して下さい。
再現性がある場合はお手数ですが、テクニカルサポートセンターまでご連絡下さい。

6.変更履歴

10月19日版からの変更点

- ・ CodeScapeBuild99 は、Build99 の BugFix 版のため、制限事項変更無し。

9月21日版からの変更点

- ・ プロファイラ制限事項改定
- ・ その他修正

CodeScape Version2.1.2 Build 100



7月30日版からの変更点

- ・関連ファイルについて
- ・Profiler 制限事項追加
- ・その他詳細修正

7月15日版からの変更点

- ・DALI.CFG について
- ・プロジェクト設定について

6月30日版からの変更点

- ・各種制限の変更
- ・プロファイラ・シミュレータの追加
- ・OS モードと CPU モードについて

6月11日版からの変更点

- ・ASPI マネージャに関する記述を追加。

5月07日版からの変更点

- ・CodeScape のバージョンアップに伴い、制限事項項目が変わりました。

4月24日版からの変更点

- ・CodeScape のバージョンアップに伴い、制限事項項目が変わりました。

以上

ファイル名 : cs_limit
フォルダ : D:¥My Document¥topdf
テンプレート : C:¥Program Files¥Microsoft
Office¥Template¥Normal1.dot
表題 : CodeScape
副題 :
作成者 : Matsuda, Hakuroh
キーワード :
説明 :
作成日時 : 98/09/21 15:22
変更回数 : 10
最終保存日時 : 98/10/26 14:02
最終保存者 : M a t s u d a . H a k u r o h
編集時間 : 54 分
最終印刷日時 : 98/10/29 18:56
最終印刷時の合計
ページ数 : 5
単語数 : 441 (約)
文字数 : 2,515 (約)